

碓氷製糸株式会社は日本に残っている 2 つの製糸工場のうちの一つです。碓氷製糸株式会社は日本の繭の 60% を処理し、日本のシルクの多くを生産している。碓氷製糸株式会社の本社はもともと別の会社によって保有されていた。

この企業は蚕農家からキビソ、粘着性のある廃シルクを収集し、それを柔らかい絹の詰め物にした。1959 年まで、工場が廃業する危険にさらされ、碓氷製糸農業協同組合に買い取られた。2017 年、碓氷製糸株式会社に組み込まれた。今日、工場は、日本のかつての偉大な産業の一つの重要な遺産として運営を続けるために、政府、そして多くの組織・団体から支援されている。